

視点

バイデン発言は 的外れか

バイデン大統領が、米国経済成長の理由の一つは移民の受入れで、日本が問題を抱えているのは「外国人嫌いで移民を望んでいないため」と発言。日本政府は正確な理解に基づかず残念だと申し入れた。こども未来戦略は「誰もが結婚やこどもを生み育てたい」と個人の希望実現をうたう一方、それより前に「少子化・人口減少に歯止めをかけないと経済・社会システムの維持が難しい。世界第3位の経済大国という立ち位置に影響を及ぼす。インド等に追い抜かれ続ければ国際社会における存在感を

失う」と国際社会の存在感や国力維持を掲げる。現実には、GDPはドイツに抜かれ、来年にはインドにも抜かれ、世界5位になる。少子化対策の議論は盛んだが、それが奏功して高位の合計特殊出生率を実現した場合、中位と比べ20年で320万人、40年で730万人増える。一方、外国人の入超は年16・4万人で、20年で330万人、40年で660万人増加し、それに匹敵する効果が見込まれる。人口政策は少子化対策と外国人政策が車の両輪で、前者だけでは若年女性人口は既定のため即効性

は期待しがたく、外国人は多様性が新たな価値観やアイデアを生む。ヘイミシユ・マクレイ氏の近著「2050年の世界」は、米国は移民の受入れ人口が増加し、成長の源泉である優秀な人材を惹きつける磁石であり続けるのに対し、日本は高齢化と特異な移民政策で人口が減少し、内向きになり経済規模が縮小すると指摘する。バイデン発言が世界の常識であって、国力維持というなら、育成就労を含む「人手不足解消策」から「移民政策」に踏み込むべきではないのか。

社会保険旬報

目次

No.2930 2024年6月11日

視点

バイデン発言は的外れか 3

座標

厚労相と医療団体が賃上げで意見交換
四病協が7年度概算要求へ要望書 4
厚労省が「出産なび」を新設
日慢協が6年度診療報酬改定で見解 5

インタビュー

令和6年度診療報酬改定
医療は何より安全性を重視すべき
利便性・効率性に偏る判断は危険
日本医師会常任理事 長島公之 6

論評

高齢者救急の検討③
一地域医療構想における検討
松田晋哉 12

2070年の超高齢者問題

小田清一 20

ジュネーヴからの便り⑩

国連欧州本部
中谷祐貴子 .. 19

BOOK REVIEW

『医師アウトリーチから学ぶ地域共生
社会実現のための支援困難事例集』
..... 26

潮流

財政審が「春の建議」 27
地域医療構想検討会がヒアリング 30
かかりつけ医分科会が本格議論開始 32
サイバー対策でチェックリスト 33
製薬企業上位5社が売上高1兆円超 34

療養の給付の取扱いについて 39

雇用・労働の動き 41

編集室・ワードカプセル 42